

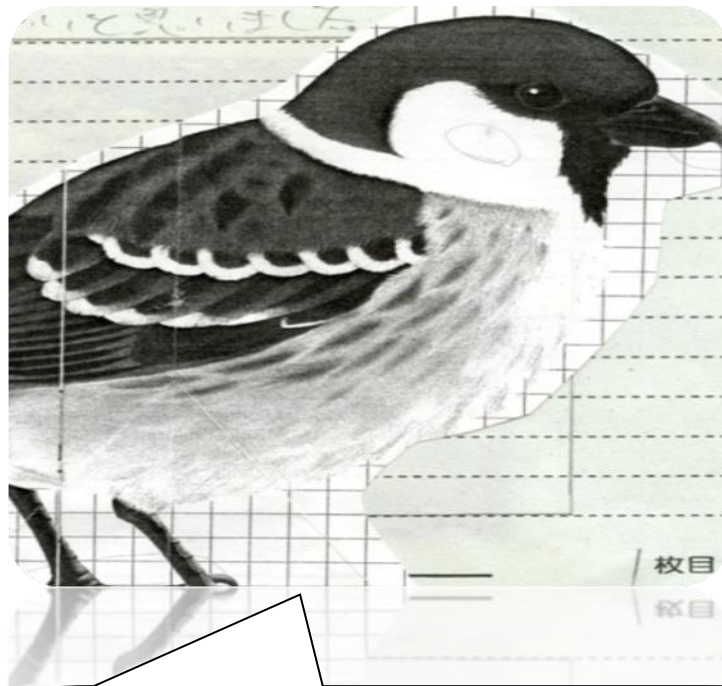
## 止めよう！人間の自然破壊

2年2組 H.M

被れる植物と四季の鳥、鳥の見分け方についてです。1日目は、バードウォッチングに行きました。この日は天気があまり良くなく、鳥を見るのには良くない天気でした。この日最初に見た鳥は、カルガモ、と言う鳥でした。カルガモは基本、水面を泳いでいるとネイチャーガイドの先生は言っていました。この日は、結局、1匹しか見る事ができませんでしたが、他に、鳥が暮らした跡と思われる、鳥の巣がありました。また、いろんな植物なども見る事が出来ました。植物では、触るだけでかぶれてしまう、また、アレルギーがあれば空気だけでかぶれてしまう葉がありました。自分は基本、葉に触れると少しかぶれてしまうことがあるので、近寄らなかつたです。

バードウォッチングが終わると、質問を受けて下さったので、自分は、四季の鳥について質問しました。すると、ネイチャーガイドの先生は、四季の鳥は1匹1匹、個性があり、鳴き声も違うと教えて下さいました。その他に、一番多かった質問は、鳥の見分け方でした。見分け方は声、痕跡、色ですと教えて下さいました。

何でも答えられるなんてすごいいいと思いました。



バードウォッチングに行く前に、鳥の見分け方について、テストをしました。その時に使った資料です。

## 環境省の方に聞いた五色沼の秘密

五色沼からの帰る途中に環境省の方と出会い、その環境省の方から聞いた事、自分が不思議と思った事についてです。

2日目は五色沼の環境と自然のコースを歩きました。この日は、1日と言う事で長い時間、学習できました。1日と言う事でとても疲れましたが、色々な環境と自然を見ることができました。その中で一番心に残ったことは、歩いて、歩いて、やっとの事でたどり着いた五色沼でした。疲れていた分、五色沼がとてもきれいに見えました。五色沼に行くまでの途中に赤沼も見ることが出来ました。赤沼と言うから赤色なのかなあ、と思いました。ですが実際は緑色でした。何故なのか、とても不思議に思いました。

また、五色沼の観察を終え、帰ってくる途中の休憩の時、環境省の方と会いました。環境省の方に話を聞きました。すると、「最初は、こんなに沼とかはつきり草で見る事ができなかった」と、おっしゃっていました。自分も、「たしかに、こんなにハッキリ見られるものなのかなあ」と思いました。環境省の方は、観光に来ている方々に沼の美しさなど見てもらうため、自然をちょっとだけ人工に変えて、沼とか見られるようにした、とおっしゃっていました。



この写真は、五色沼の写真です。歩いて、歩いて、やっとのことでたどり着いた五色沼は、とても綺麗でした。

撮影：箕輪 秀人

## 不思議な植物

2日目の体験学習の途中に見た色々な植物についてです。

体験学習の途中色々な植物を見ることができました。その中で自分が一番不思議に思った植物が、つるのような形をした木でした。どのようにしたら、つるのような形になるのかとても不思議に思いました。

また、ほかの木とは比べて、とても細く、枝のような感じでした。そのほかには、触るだけで、被れてしまう植物もありました。また、体質によっては空気だけで被れてしまう植物もありました。

また、オニグルミ、と言うクルミも所々に落ちていました。

ウォークラリーの途中、森に入った時にも動物どうしが戦った後の痕跡もありました。

その痕跡とは、血、でした。所々に散っている血は、あきらかに、動物どうしが戦った後だと思いました。また、動物が食べた後だと思われる、植物もありました。

磐梯の自然は、色々な物がありました。その中で一番、興味を持ったのは、下の写真のつるのような形をした木でした。今後この、つるのような木を調べられたらいいな、と思います。



五色沼に行く途中に興味を持った、植物

撮影：箕輪 秀人

## 自然の中で学んだ事

3日目のウォークラリーでは、班での行動でした。ウォークラリーでは、途中に問題などがあったりしてとても大変でした。道に迷ったりもしました。ですが色々な自然環境に囲まれて歩いたのでとても気持ち良く、楽しかったです。このウォークラリーの途中、他学校の人たちとも会いました。また、観光に来ている人もいっぱい来ていました。

そう言った人たちが自分たちの横を通ると「こんにちは」と、気持ち良くあいさつをしてくれました。この時、やっぱりあいさつは、人を気持ち良くさせてくれる言葉だな、と思いました。

自分はこのウォークラリーで学んだ事があります。1つは、協力です。協力し合わないと途中の問題も解けない、と言う事です。2つ目は、あいさつです。あいさつは人を気持ち良くさせてくれる、と言う事、そう言った事をウォークラリー、自然で学んだ事です。こう言った事を今後の生活にいかしていきたいと思います。



磐梯の自然です。色々な自然に感動しました。  
また、この自然の中で色々な事も学びました。

撮影：箕輪 秀人

## 磐梯の生き物

調べていた蛇についてです。自分が林間に行く前、調べていた磐梯の生物は、蛇とスズメバチでした。磐梯の蛇、スズメバチにはどのような特徴があるのかを調べました。蛇は、五円玉の様な模様をしていて、ハチは、集団行動と言う特徴を持っていました。

実際、磐梯に行って自然を歩いて来ました。残念ながら、自分が見たかった、ヤマカガシと言う蛇は見ることができず、他の蛇を見つけることができました。ハチは結構、所々飛んでいて、調べた通り集団で行動していました。

見られたのは、蛇、ハチなど、鳥の痕跡もありました。自分が調べた課題は、ちょっとでも知れる事ができたのでとてもよかったです。1日目のバードウォッチングの質問コーナーで自分は、蛇の事を聞きました。蛇は、蛙を狙っているから蛇は、田んぼにいるそうです。



バードウォッチングの途中に見つけた、ブナの種

## 自然破壊の影響

自分は林間学校に行く前に、自然破壊の影響について調べました。

調べた結果は、動物たちは人間たちの自然破壊によって多くの被害をうけている、自分は今まで自然破壊と言うのは、木を切ったり、植物を許可なく採集したりする、そういう事だと自分は思います。そういう自然破壊によって動物たちは住む所をなくし、絶滅に追い込まれる、そう言ったことが調べた結果からわかったものです。

自分はそこで動物たちがどうすれば絶滅に追い込まれずすむかを考えました。人間一人一人が森をキレイにしてより良い環境で自然体験をすれば、森も環境がこわれず、動物たちも絶滅に追い込まれることもないと思います。